



日本共産党 八王子市議会議員

石井ひろかず

発行 日本共産党八王子市議会議員団 21期9号 2020年3月号

〒192-0906 八王子市北野町590-3

TEL 642-6344 FAX 646-8055

メール sensen-ryoryo@marble.ocn.ne.jp



石井ひろかず
サイト



市政へのご意見・ご要望を
お聞かせください

日本共産党 八王子市議団(控室) ▶ 電話 620-7317 FAX626-3398
八王子地区委員会 ▶ 電話 642-6344 FAX646-8055

ご相談は
お気軽に

新型コロナウイルス対策強化を

お困りごとをお寄せください

新型コロナウイルスの流行が続いています。2月の末に突然「政治判断」で要請された一律休校は、全国の学校や家庭を困惑させ、八王子も翌日金曜日を最後の授業日にしてしまいました。また、イベントなどの自粛要請を受けて、市民センターや図書館なども閉鎖されました。これらによって仕事がなくなった方たちや、自宅待機を促された子どもたちなどへの支援が必要です。

共産党市議団は、小学校高学年まで自主登校を認め、給食も提供することや、ウイルス検査を拡大することなど、緊急に市に要請しました。

政府のコロナ対策予算は少なすぎます。十分に予算



自粛と補償は一体で

副市長と教育長に要請

をかけて、必要な検査を迅速に実施し、休業補償や所得補償、無利子融資や税の減免など手厚く行うこと、消費税を引き下げ、市民のくらしを守ることを引き続き強く求めます。

新型コロナウイルス関連などご意見やお困りごとは
日本共産党市議会議員団へお寄せください。

国民健康保険税5.14%値上げ！連続値上げ予算案に反対

退職者や自営業者など多くの方が加入されている八王子の国民健康保険税は、3年連続で大幅に値上げされます。国の方針通りに、市が一般会計からの繰り入れ額を大きく減らしたことが要因です。

昨年の第4回定例会で共産党市議団は、18歳までの子どもの均等割を全額減免する条例提案を行いました。赤ちゃんにまでかかる均等割は他の健康保険にはなく、子育て世代に特に重くのしかかっています。条例案は賛成少数で否決されましたが、東京でも多くの市が、

独自に均等割の軽減を行っています。ひき続き、市に独自の軽減策と値下げを求めています。

日本共産党は、1兆円の国費投入で、国保の均等割をすべてなくし、国保税を今の半額に引き下げる提案を続けています。国の責任で大幅値下げさせましょう。

■ 40代両親、子ども二人、年収200万円の世帯の国民健康保険税額

| 2008年度 (リーマンショック時) | 2017年度 (都道府県単位化前) | 2020年度 |
|-----------------------|----------------------|----------|
| 13万2800円 | 16万7300円 | 19万2500円 |

あまりに巨額で有害な

GIGAスクール構想

すべての児童・生徒にコンピューターの端末を持たせるGIGAスクール構想。国が急にまとめたこの方針のもとに、八王子は2月の補正予算で市内の小中学校すべての教室や体育館に無線LANなどの環境整備を進める27億円もの巨額の予算を組みました。タブレットPCの購入費や運営費は今後さらに大きいのしかかかってきます。

そうまでして、低学年から全員にタブレット端末を持たせる必要があるのか、教室という場でみんなで共感しながら学ぶ喜びが損なわれるのではないかと、電磁波の感受性が強い子どもに対する悪影響が大きいのではないかと、こうした懸念が現場からも上がっています。

共産党市議団は、GIGAスクール構想を拙速に進めないよう求め、補正予算案に反対しました。



地球温暖化防止対策を迅速に [温室効果ガス排出ゼロを目指して]

一般質問

近年の猛暑や豪雨の根本原因でもある地球温暖化。その防止は世界共通の緊急課題です。

昨年の国連気候行動サミットやCOP25では、グレタ・トゥンベリさんなど世界の若者たちが大活躍。温室効果ガスをどれだけ削減するかが各国に問われています。

昨年と今年の定例会で私は、市の地球温暖化防止対策を抜本的に強化し、太陽光や小水力などあらたな発電設備を増やして、北野あったかホールの熱源にもなる再生可能エネルギーの拠点施設をつくることなど求めました。

また、家庭での太陽光発電設備や蓄電池などへの補助を拡大し、森林や農地を守って緑化を広げるよう求めました。

意見書提案

昨年の第4回定例会で、政府に対し、温室効果ガス削減目標を大きく引き上げ、実践すること、石炭火力発電所の新設や輸出をやめることなど求める意見書を他会派と共同で提案しました。温室効果ガス排出量が特に多い石炭火力発電は、世界中で廃炉が進められ、日本政府が増やそうとしていることは国際的に批判されています。

意見書は賛成少数で否決されましたが、大多数の市民の皆さんが賛同される内容だと思えます。引き続き政府にも、温室効果ガス抜本削減と再生可能エネルギー普及を求めていきましょう。

豪雨対策の強化と避難所の改善を 学校体育館へのエアコン設置も前進



昨年の台風19号では、市内各地で浸水被害があり、多くの方が避難所で過ごされました。私は、バリアフリーになっていない避難所の改善を求め、市は全ての避難所に車イスを配備し、必要な施設には可搬式スロープを配備することにしました。

また、共産党市議団がくりかえし求めてきた学校体育館へのエアコン設置も、ついに市が整備計画を策定すると表明しました。

多発する豪雨を受けて、東京都は降水量の想定を上げた浸水予想区域図を公表しました。氾濫や浸水をくりかえさないためには、河川の浚渫や管路の改修などが必要です。市の総合防災マップの充実と合わせて、台風シーズンの前に対策を強化するよう私は求めました。

会計年度 任用職員制度 スタート

4月から市の臨時職員と嘱託職員がパートタイムの会計年度任用職員に変わります。ほとんどの方は期末手当が支給され収入が増えることになりましたが、年収が下がる見込みの方もいて問題です。また毎年度、条件付き採用期間があり、

雇用の継続も保障されません。

災害時や緊急時に責任を持って対応できる常勤の一般職員を増やすことこそ大切です。常勤希望者の採用の道を広げ、不利益になる方をなくすよう共産党市議団は求めました。